

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 山野 義友
 (J A S D A Q コード番号 7571)
 問い合わせ先 取締役専務執行役員
 管理本部長 岡田 充弘
 電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

2021年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月13日に公表しました2021年3月期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

通期連結業績予想の修正について

(1) 2021年3月期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	295	270	△150	△4.47
今回修正予想(B)	12,550	195	180	△320	△9.54
増減額 (B - A)	△450	△100	△90	△170	—
増減率 (%)	△3.5	△33.9	△33.3	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	14,064	51	67	3	0.10

(2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績については、本日公表の「2021年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、前期に新規で連結子会社化した2社及び事業譲受による寄与があり、既存事業においても当初計画に対して堅調に推移してまいりましたが、年初の緊急事態宣言再発出とその期間延長に伴い消費動向が減退しており、その影響は当事業年度末まで一定程度残ることが予想されます。

当社グループでの第4四半期連結会計期間の業績については、外出自粛や営業時間短縮等の影響により来店客数や展示販売会での集客数の落ち込みによる売上高減少が見込まれ、当初計画を下回ることが見込まれます。利益につきましては、販促活動の制限による費用減少のほか、一般管理費の見直しによるコスト削減に努めておりますが、売上高減少に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても計画を下回る見込みです。

こうした状況を踏まえ、上記の通り業績の見通しを修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上